



2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社マナック・ケミカル・パートナーズ

上場取引所 東

コード番号 4360 URL <https://mcps.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 杉之原 祥二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ財務戦略室長 (氏名) 吉田 誠吾

TEL 03-5931-0554

定時株主総会開催予定日 2026年6月30日

配当支払開始予定日 2026年6月16日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	10,993	18.2	739		825		781	
2025年3月期	9,304	3.9	342		275		895	

(注) 包括利益 2026年3月期 1,042百万円 (%) 2025年3月期 865百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2026年3月期	95.97		6.9	5.4	6.7
2025年3月期	110.77		8.7	2.2	3.7

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2026年3月期	15,308	11,301	73.8	1,382.65
2025年3月期	12,646	10,305	81.5	1,271.50

(参考) 自己資本 2026年3月期 11,301百万円 2025年3月期 10,305百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	2,147	1,659	727	4,008
2025年3月期	108	489	126	2,767

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2025年3月期		7.50		5.00	12.50	100		1.0
2026年3月期		5.00		7.50	12.50	102	13.0	0.9
2027年3月期(予想)		7.50		7.50	15.00			

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	
	百万円	%
通期	11,600	5.5

2027年3月期の連結業績予想については、中東情勢による未確定要素を踏まえ、特に今後の生産計画の変更可能性や原料コストの変化等、合理的な算定が困難なため、現時点では売上高のみを開示しております。今後、影響が判明次第速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1 社 (社名) 錦海化学株式会社、除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 以外の会計方針の変更：無
 会計上の見積りの変更：無
 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 期末自己株式数
 期中平均株式数

2026年3月期	8,625,000 株	2025年3月期	8,625,000 株
2026年3月期	450,860 株	2025年3月期	519,810 株
2026年3月期	8,147,154 株	2025年3月期	8,081,726 株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日 ~ 2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	647	18.1	249	147.5	326	104.2	223	79.6
2025年3月期	547	1.2	100	9.8	159	69.1	124	76.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	27.45	
2025年3月期	15.41	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2026年3月期	13,421	91.2	12,241	91.2			1,497.53	
2025年3月期	12,055	98.1	11,821	98.1			1,458.45	

(参考) 自己資本 2026年3月期 12,241百万円 2025年3月期 11,821百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報の注記)	12
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が見られる一方で、イラン情勢をはじめとする中東地域の不安定化に伴う原材料・エネルギー価格の再高騰、物流の混乱や地政学リスク等に加え、米国政権の政策動向等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで当社グループは、国内外の市場における顧客への取引深耕に積極的に取り組んでまいりました。その結果、当連結会計年度における業績は、売上高は10,993百万円（前期比+1,689百万円、18.2%増）、営業利益は739百万円（前連結会計年度は342百万円の営業損失）、経常利益は825百万円（前連結会計年度は275百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は781百万円（前連結会計年度は895百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、医薬分野においては大型案件が順調な立ち上がりを見せたことに加え、大型スポット案件の販売が業績に貢献いたしました。また、半導体関連製品等の新規開発品目が進んでおり、これらの要因により売上高及び利益ともに増加いたしました。

その結果、売上高は5,032百万円（前期比+1,098百万円、27.9%増）、セグメント利益は1,211百万円（同+608百万円、100.9%増）となりました。

②難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、一部製品では依然として市況及び需要の落ち込みが継続して見られたものの、電子材料部材や家電製品等に使用されるプラスチック用難燃剤の需要は底堅く推移いたしました。また、製品における販売単価の見直しを継続的に実施することにより売上高及び利益ともに増加いたしました。

その結果、売上高は4,545百万円（前期比+570百万円、14.4%増）、セグメント利益は523百万円（同+450百万円、623.7%増）となりました。

③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、主力の人工透析用薬剤の原料が安定した需要を維持いたしました。また、一部製品における販売単価の見直しにより、売上高及び利益ともに増加いたしました。来年度以降につきましても継続して販売単価の見直しを実施することにより、更なる利益改善を進めてまいります。

その結果、売上高は1,415百万円（前期比+19百万円、1.4%増）、セグメント利益は107百万円（同+53百万円、98.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2,662百万円増加し、15,308百万円となりました。これは主に、連結子会社における新棟建設等に伴う建設仮勘定が増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,666百万円増加し、4,006百万円となりました。これは主に、新棟建設等に伴う借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて996百万円増加し、11,301百万円となりました。これは主に、利益剰余金、及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,241百万円増加し、当連結会計年度末には、4,008百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は2,147百万円（前年は108百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の増加、及び売上債権の回収によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,659百万円（前年は489百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産及び子会社株式の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は727百万円（前年は126百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

(4) 今後の見通し

通期の連結業績見通しにつきましては、売上高11,600百万円（前期比5.5%増）を予想しております。なお、2027年3月期の連結業績予想については、中東情勢による未確定要素を踏まえ、特に今後の生産計画の変更可能性や原料コストの変化等、合理的な算定が困難なため、現時点では売上高のみを開示しております。今後、影響が判明次第速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,767	4,008
受取手形及び売掛金	2,100	1,804
電子記録債権	531	464
商品及び製品	2,193	2,112
仕掛品	621	442
原材料及び貯蔵品	726	776
その他	108	114
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	9,045	9,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	501	663
機械装置及び運搬具(純額)	371	675
土地	636	694
建設仮勘定	111	1,166
その他(純額)	127	170
有形固定資産合計	1,748	3,370
無形固定資産		
リース資産	130	99
その他	13	17
無形固定資産合計	143	116
投資その他の資産		
投資有価証券	1,520	1,809
繰延税金資産	109	221
その他	78	68
投資その他の資産合計	1,708	2,099
固定資産合計	3,600	5,587
資産合計	12,646	15,308

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,418	1,450
電子記録債務	—	83
1年内返済予定の長期借入金	—	100
未払法人税等	66	204
賞与引当金	136	230
その他	568	826
流動負債合計	2,190	2,895
固定負債		
長期借入金	—	716
退職給付に係る負債	—	124
繰延税金負債	135	255
その他	14	13
固定負債合計	150	1,110
負債合計	2,340	4,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	300	300
資本剰余金	3,453	3,438
利益剰余金	6,513	7,213
自己株式	△377	△327
株主資本合計	9,888	10,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	403	646
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	12	30
その他の包括利益累計額合計	416	676
非支配株主持分	—	0
純資産合計	10,305	11,301
負債純資産合計	12,646	15,308

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	9,304	10,993
売上原価	7,831	8,491
売上総利益	1,472	2,501
販売費及び一般管理費	1,814	1,762
営業利益又は営業損失(△)	△342	739
営業外収益		
受取利息及び配当金	50	69
助成金収入	14	7
その他	22	42
営業外収益合計	88	118
営業外費用		
支払利息	—	3
為替差損	10	28
保険解約損	9	—
その他	0	0
営業外費用合計	20	32
経常利益又は経常損失(△)	△275	825
特別利益		
固定資産売却益	—	10
関係会社株式売却益	—	74
特別利益合計	—	85
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券売却損	0	—
減損損失	516	—
ゴルフ会員権売却損	2	—
特別損失合計	519	1
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△794	910
法人税、住民税及び事業税	77	165
法人税等調整額	22	△36
法人税等合計	100	128
当期純利益又は当期純損失(△)	△895	781
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△895	781

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△895	781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	242
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△2	17
その他の包括利益合計	30	260
包括利益	△865	1,042
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△865	1,042

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	300	3,460	7,529	△426	10,863
当期変動額					
剰余金の配当			△121		△121
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△895		△895
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△6		48	41
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△6	△1,016	48	△974
当期末残高	300	3,453	6,513	△377	9,888

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	370	—	15	386	11,249
当期変動額					
剰余金の配当					△121
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△895
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					41
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	32	—	△2	30	30
当期変動額合計	32	—	△2	30	△944
当期末残高	403	—	12	416	10,305

当連結会計年度(自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	300	3,453	6,513	△377	9,888
当期変動額					
剰余金の配当			△81		△81
親会社株主に帰属する当期純利益			781		781
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△14		50	35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△14	700	50	735
当期末残高	300	3,438	7,213	△327	10,624

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	403	—	12	416	—	10,305
当期変動額						
剰余金の配当						△81
親会社株主に帰属する当期純利益						781
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	242	△0	17	260	0	260
当期変動額合計	242	△0	17	260	0	995
当期末残高	646	△0	30	676	0	11,301

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△794	910
減価償却費	480	371
賞与引当金の増減額(△は減少)	9	48
受取利息及び受取配当金	△50	△69
支払利息	—	3
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△74
有形固定資産除売却損益(△は益)	0	△9
減損損失	516	—
助成金収入	△14	△7
売上債権の増減額(△は増加)	233	555
棚卸資産の増減額(△は増加)	77	293
仕入債務の増減額(△は減少)	△456	△0
その他	69	143
小計	71	2,163
利息及び配当金の受取額	50	69
利息の支払額	—	△3
法人税等の支払額	△28	△89
助成金の受取額	14	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	108	2,147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△519	△1,616
有形固定資産の売却による収入	29	13
投資有価証券の取得による支出	△1	—
投資有価証券の売却による収入	0	142
無形固定資産の取得による支出	—	△8
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△202
その他	—	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△489	△1,659
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	850
長期借入金の返済による支出	—	△33
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5	△7
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△121	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126	727
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△519	1,240
現金及び現金同等物の期首残高	3,286	2,767
現金及び現金同等物の期末残高	2,767	4,008

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品の種類別に「ファインケミカル事業」「難燃剤事業」「ヘルスサポート事業」の3つに事業を区分し、それぞれが戦略を立案して事業活動を展開しております。これら3つの事業区分とそれらにおける主要製品は以下のとおりです。

ファインケミカル事業……機能性材料及び医薬品とそれらの中間体
 難燃剤事業……プラスチック用難燃剤とそれらの関連製品
 ヘルスサポート事業……人工透析用原料、抗菌剤原料

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,933	3,974	1,395	9,304	—	9,304
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,933	3,974	1,395	9,304	—	9,304
セグメント利益又は損失(△)	603	72	54	729	△1,072	△342
セグメント資産	3,703	2,352	846	6,902	5,743	12,646
その他の項目						
減価償却費	197	140	21	359	121	480
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	82	253	24	360	87	447

当連結会計年度(自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,032	4,545	1,415	10,993	—	10,993
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,032	4,545	1,415	10,993	—	10,993
セグメント利益又は損失(△)	1,211	523	107	1,842	△1,103	739
セグメント資産	4,329	2,248	825	7,403	7,904	15,308
その他の項目						
減価償却費	210	19	24	253	117	371
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	432	102	16	551	113	664

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差異の調整及び当該差異の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	729	1,842
全社費用(注)	△1,072	△1,103
連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)	△342	739

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,902	7,403
全社資産(注)	5,743	7,904
連結財務諸表の資産合計	12,646	15,308

(注) 全社資産は、主に当社での余剰運用資金及び管理部門等に係る資産であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	359	253	121	117	480	371
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	360	551	87	113	447	664

(注) 1. 減価償却費の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係るものであります。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る設備投資額であります。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,271円50銭	1,382円65銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△110円77銭	95円97銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△895	781
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△895	781
普通株式の期中平均株式数(株)	8,081,726	8,147,154

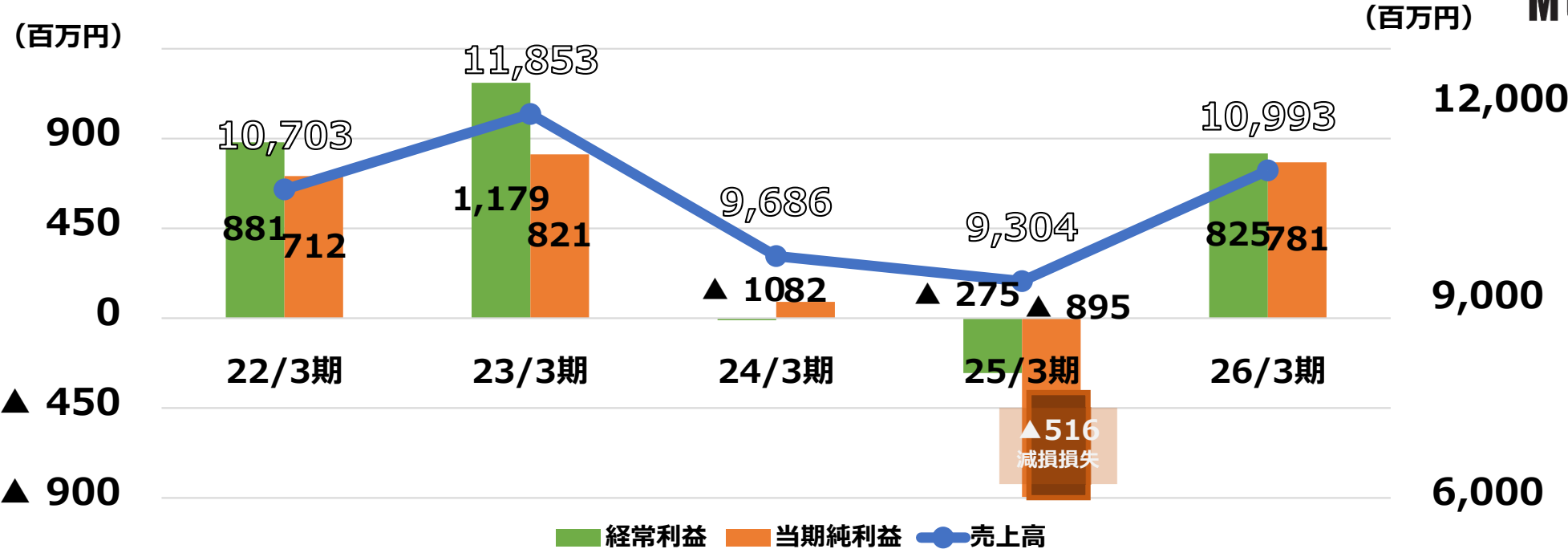
(注) 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。



2026年3月期の連結業績



2026年3月期は、ファインケミカル事業における**新規開発品目の進展**や**医薬分野の大型スポット案件**、並びに難燃剤事業における**需要の下げ止まりに伴う販売の底堅い推移**や**価格改定**が寄与し、**連結売上高・利益ともに前年を上回る結果**となりました。

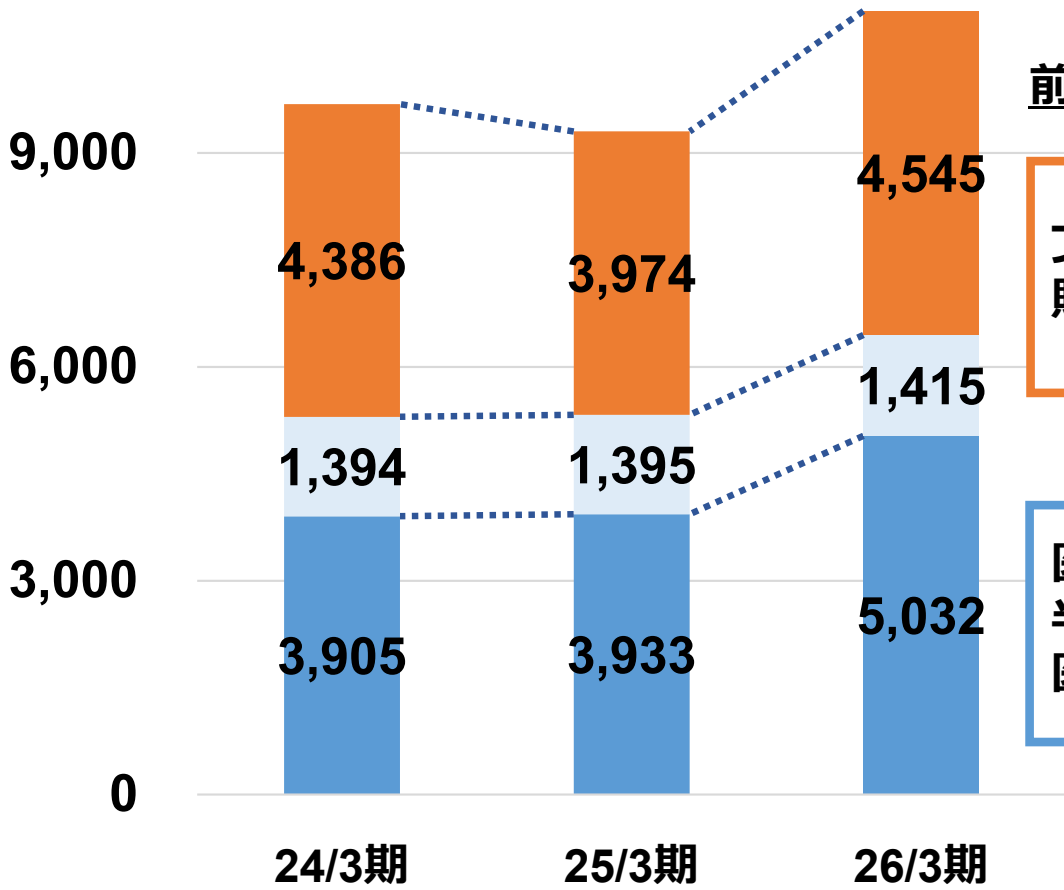
前期において業績の最低期を脱したことを受け、各事業の収益改善を継続するとともに、**成長戦略としてファインケミカル事業における半導体関連製品の受託拡大**を推進してまいります。なお、2027年3月期の連結業績予想については、中東情勢による未確定要素を踏まえ、特に今後の生産計画の変更可能性や原料コストの変化等、合理的な算定が困難なため、現時点では売上高のみを開示しております。今後、影響が判明次第速やかに公表いたします。



2026年3月期のセグメント別売上高

セグメント別売上高

(百万円)
12,000



前期比売上高増減要因：

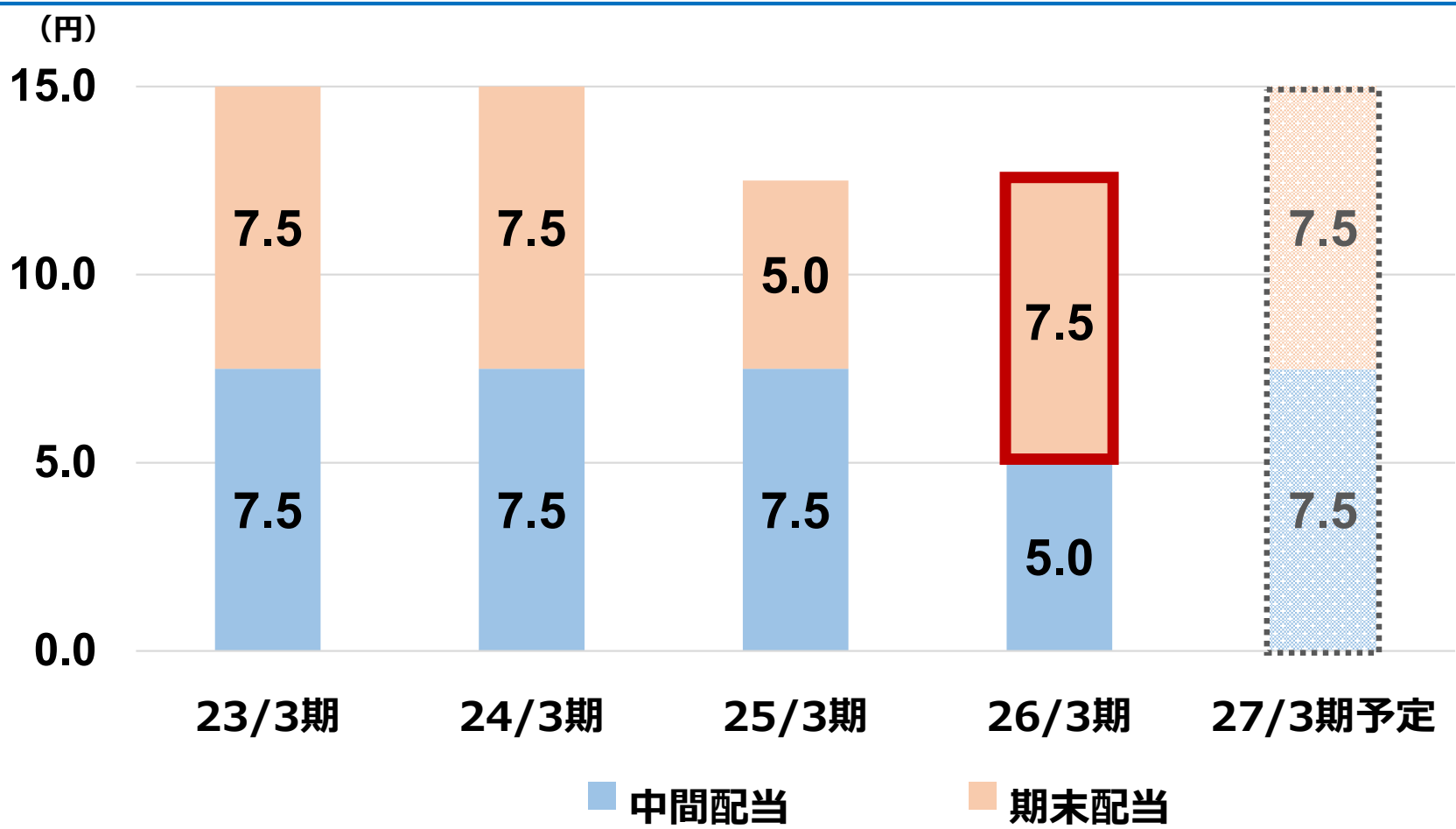
プラスチック用難燃剤の販売数量増 (+)
販売単価の見直し (+)

医薬関連製品の大型スポット案件 (+)
半導体関連製品等の新規品目 (+)
医薬分野の大型案件 (+)

■ ファインケミカル ■ ヘルスサポート ■ 難燃剤



2026年3月期の配当



今後の事業環境に不透明感は残るものの、足元の業績は回復傾向にあること、並びに株主の皆様の日頃からのご支援にお応えするため、2026年3月期の期末配当は当初の予想より2円50銭増配し、1株当たり7円50銭とすることといたしました。なお、長期的かつ安定的な配当方針に基づき、2027年3月期の配当金は中間7円50銭・期末7円50銭の合計15円00銭を予定しております。

事業投資の進捗状況

投資
分野

ファインケミカル事業

株式会社マナック・ケミカル・パートナーズ（MCPs）

2026年3月31日付で、臭素化合物の受託事業や樹脂添加剤において、設備と技術力の強みを持つ**錦海化学株式会社**（岡山県瀬戸内市）の株式を取得しました。グループ間の連携および協業を通じ、事業の相乗効果を創出し、収益基盤の強化を推進します。

投資
分野

ファインケミカル事業

マナック株式会社（MCPsの100%連結子会社）

当社事業子会社のマナック株式会社では、**金属不純物管理技術向上**および**ヨウ素化合物**を中心とした**半導体関連製品の受託開発拡大**を目的とし、福山工場（広島県福山市）にて**微量金属分析装置の設置**を推進しております。

当該装置の運用を通じ、次世代半導体向けを中心とした新製品開発を加速させてまいります。先行して進めていた新事務所棟の竣工により、設備設置の基盤が整いました。

2027年3月期中に、各設備の運用を順次開始します。



微量金属分析装置を設置する
新事務所棟
(2026年5月現在)